

全国初、戸田市とユーグレナ社が包括連携協定を締結 双方の資源を活用し、サステナブルな地域社会の発展を目指す

株式会社ユーグレナ

埼玉県戸田市（市長：菅原文仁、以下「戸田市」）と株式会社ユーグレナ（本社：東京都港区、代表取締役社長：出雲充、以下「ユーグレナ社」）は、双方が持つ資源を有効に活用し、多岐にわたる分野に連携して取り組むことで、市民サービスの向上や施策効果の拡大などに寄与することを目的に包括連携協定を締結しました。ユーグレナ社が自治体と包括連携協定を締結するのは、全国初となります。



左から、とだ PR 大使・ユーグレナコーポレートシェフ 鳥羽周作氏、戸田市長 菅原文仁氏、ユーグレナ社代表取締役社長 出雲充

ユーグレナ社は、ユーグレナ・フィロソフィーとして「Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）」を掲げ、サステナビリティを軸に事業を展開します。2021年6月には、ミシュラン・ガイド東京で3年連続1つ星を獲得した代々木上原のレストラン「sio」のオーナーシェフ・鳥羽周作氏（以下、鳥羽シェフ）がコーポレートシェフに就任し、栄養豊富で健康も地球環境もサステナブルにする石垣島ユーグレナのおいしさを引き出す新商品やレシピ開発などに取り組むプロジェクトも展開しています。

戸田市は、社会的課題の解決と持続可能な地域づくりを目指し、様々な分野において双方の特性や資源を生かし協力し合う、公民連携に積極的に取り組んでいます。2021年11月には、戸田市出身の鳥羽シェフが、「食」を通じて地域の魅力発信を行う「とだ PR 大使」に就任しました。

今回、戸田市とユーグレナ社が双方の取り組みに共感し、とだ PR 大使であり、ユーグレナ社のコーポレートシェフである鳥羽シェフが橋渡し役となって協定締結に至りました。戸田市とユーグレナ社は、サステナブルな地域社会の発展及び市民サービスの向上を目指し、主に 8 つの項目における包括連携協定を 2021 年 1 月 25 日（火）に締結しました。まずはユーグレナ商品をフードドライブ等へ提供し、健康をサポートします。また、戸田市とユーグレナ社との連携事業のほか、鳥羽シェフも加わった三者での連携事業も今後実施する予定です。

戸田市、ユーグレナ社はサステナブルな社会の実現の為にパートナーシップを継続していきます。

《連携項目》

- (1) 産業・経済の振興に関すること
- (2) スポーツ、教育及び生涯学習に関すること
- (3) 子育て支援、子ども・青少年育成に関すること
- (4) 健康づくりに関すること
- (5) 高齢者支援に関すること
- (6) シティプロモーションに関すること
- (7) 環境に関すること
- (8) その他市民サービスの向上と地域活性化に関すること

とだサステナブルシティプロジェクト～持続可能な社会を目指して～



石垣島ユーグレナについて

ユーグレナは藻の仲間です。豊かな石垣島の自然で育った石垣島ユーグレナは、人間が必要とする豊富な 59 種の栄養素（ビタミン、ミネラル、アミノ酸、DHA、オレイン酸などの不飽和脂肪酸、特

有成分パラミロン[※]など)を持ち、細胞壁をもたないため、栄養の消化吸収率も高い特長があるスーパーフードです。また、環境的要素に配慮した責任ある方法で育てられていることが認められ、SDGsの目標14の達成に有効な方法の一つである「ASC-MSC 海藻(藻類)認証」を2019年1月に世界で初めて取得しています。

※ ユーグレナ特有の成分であり、グルコース分子が β -1,3-結合により直鎖状に重合した多糖体

<株式会社ユーグレナについて>

2005年に世界で初めて微細藻類ユーグレナ(和名:ミドリムシ)の食用屋外大量培養技術の確立に成功。微細藻類ユーグレナ、クロレラなどを活用した食品、化粧品等の開発・販売のほか、バイオ燃料の生産に向けた研究、遺伝子解析サービスの提供を行っています。

また、2014年より行っている、バングラデシュの子どもたちに豊富な栄養素を持つユーグレナクッキーを届ける「ユーグレナ GENKI プログラム」の対象商品を、2019年4月より化粧品を含む全グループ商品に拡大。2012年12月東証マザーズに上場。2014年12月に東証一部市場変更。

「Sustainability First (サステナビリティ・ファースト)」をユーグレナ・フィロソフィーと定義し、事業を展開。<https://euglena.jp>

